

神の山が見守る丘陵 甲山

2022. 12. 8

＜参加メンバー＞ 8人(男性5人、女性3人)

＜天候＞ 晴れ

＜コースタイム＞

阪急甲陽園駅 9:15—9:40 越木岩神社—11:05 西国八十八ヶ所巡り—11:35 神呪寺—12:10 甲山自然の家—12:10 甲山森林公園シンボルゾーン(昼食) 13:05—13:30 軽登山道入り口—14:10 展望台—14:15 石切り場の巨大残石—14:30 森林公園東入口—14:45 仁川地すべり資料館—14:55 関学構内古墳・上が原分水樋—関学—15:20 阪急仁川駅 約12Km

＜山行の概要＞

このコースは甲山の成り立ちを知っておかないと歩く面白さは半減する。それは…約1200万年前、地下深くで形成された花崗岩が上昇を始めその花崗岩を貫いてマグマが地表に噴出、それが甲山の元になった。以降海に沈んだ時期を経て再び地表に姿を現し長い年月をかけて風化・浸食され現在の形になった。麓にはその花崗岩の巨石が点在する。越木岩神社の甑岩、甲山八十八ヶ所の石仏たち、徳川大坂城の石垣用に切り出した巨石群など。今回は大地の悠久の時間を感じながら巨石群を探索し関連する神社仏閣を礼拝しながら甲山周辺の自然を楽しむウォーキングとなりました。(Gi)



阪急甲陽園駅スタート。



越木岩神社参道。



越木岩神社本殿。



ご神体の甑岩。



切り出そうとした甑岩に残る備中池田家の家紋。



本殿横の岩には肥前鍋島家の家紋が残る。



ここから太子道、甲山八十八ヶ所を経て神呪寺、甲山へ向かう。



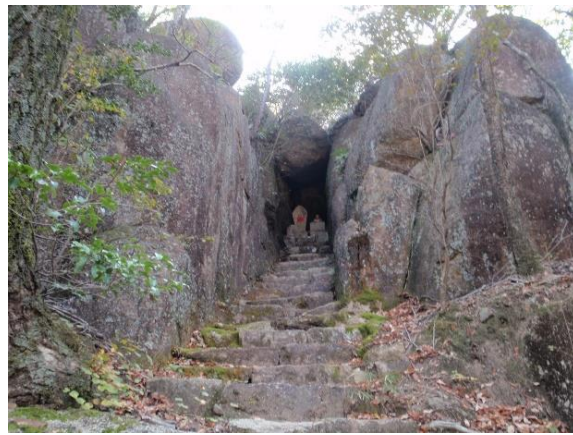
甲山八十八ヶ所巡り最初の大岩。上半分が切り出されたようだ、矢穴痕が頂部に残る。



60番の大日如来坐像、後ろは甲山。



甲山をバックに。



花崗岩の巨石を巧みに利用して仏を安置。



巨石と石仏の間に行く。



神呪寺への石段。



甲山森林公園シンボルゾーンで昼食。



東六甲石丁場跡への入り口。軽登山道の道標あり。



切り出そうとして途中で止めたか、矢穴が残る。これらの石は大坂城の石垣に使われた。



上部に矢穴痕が残る巨石。切り出した半分はどんな方法で運んだのだろうか？



ちょっと一服。



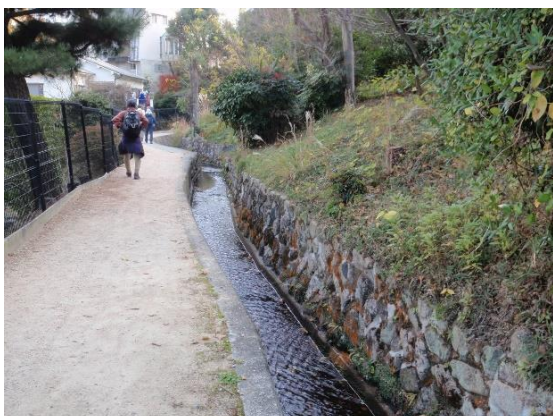
展望台から甲山。



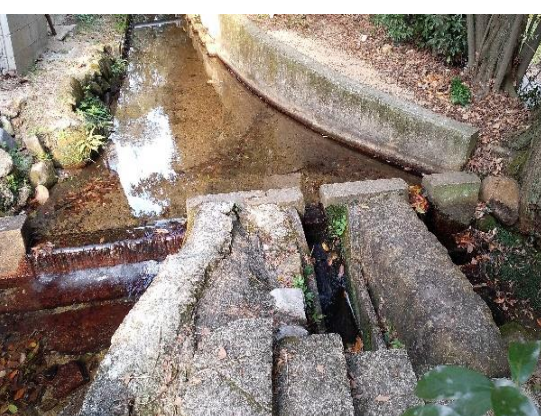
仁川地すべり発生場所。今は整備されている



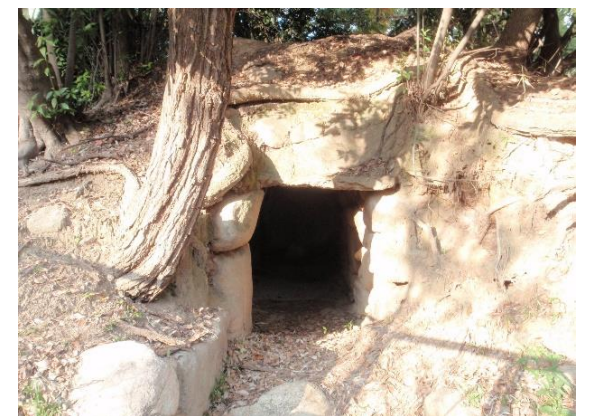
仁川地すべり資料館。



上ヶ原用水路。江戸時代、仁川上流から 38 年もかかって完成した。難工事だったらしい。



上が原分水樋。上ヶ原新田・神呪・門戸 3 村の田に分水している。



関学構内古墳。関学生も知らない。古墳時代末期 6~7 世紀の古墳とのこと。